

夢に向かって生きる



大和北小だより
R4. 9.27

“古今伝授の里 和歌のまち” 大和の小学校の子たちの短歌交流会

9月15日(木) 6年生の児童が、「短歌交流会」を行いました。

「古今伝授の里」和歌のまち である「大和」の子たちが短歌を通じて交流を図るこの会、大和町の4小学校の6年生が北小学校に集まり、親交を深めました。

今年の短歌交流会は、以下のような活動を行いました。

- 一 6年生の児童一人一人がつくった短歌59首を、氏名を伏せて一覧にし、事前に自分が素敵だと思つた「ステキ短歌」を3首選んでおく。
(約束:自分の短歌は選ばない。どれを選んだかはヒ・ミ・ツにしておく。)
- 二 4小学校の児童(ごちゃまぜ)で、8つのグループに分かれて、お互いが選んだ「ステキ短歌」を紹介。その短歌を選んだ理由を伝え合い、今度はグループの中で「おすすめ短歌」を3首選ぶ。
- 三 全体会の中で、各グループの「おすすめ短歌」を3首ずつ紹介。その中から、最終的に、投票(1人2票)によって「大和町の人たちに紹介したい「ステキ短歌」として3首を選ぶ。

ウェルカムメッセージ

ようこそ、大和北小学校へ。
今日は、短歌に親しむことも大切にしたいですが、せっかくの交流会ですから、お互いに気軽に話したりして、交流も楽しみましょう。
よろしくお願ひします。
by 旗 煌歌さん



グループ交流会の様子

もちろん、「交流会」ですから、短歌に親しむと共に、「人と人がつながること」で、未来に向けて安心や、笑顔や、ワクワクすることが生まれることを願っていました。

6年生の児童は、その場その場で、それぞれに考えたのでしょう。「どんな言葉をかけたら他校の子たちが安心できるだろうか」「喜んでくれるだろうか」「お互いが笑顔になれるだろうか」…。

他校の児童を笑顔で迎える姿。交流の場で、進んで発言する姿。グループ交流の進行役の人は、一人一人の話を大切に聞きながらグループとしての意見をまとめました。また、進行する人が困らないように、その場をつないで発言する姿も見られました。それぞれに「今、自分は何ができるか」考えて動く姿が、かしくて やさしくて 素敵でした。

最後に、みんなで「輪」をつくりました。



金子校長より、児童に伝えた ふるさと“大和”に関わるエピソード

「大和」という地名に込められた願ひは「大”きく”和”する」

6年生の児童たちが、笑顔で「輪」をつくる姿を見ていて、うれしく思いました。きっと明るい未来につながります。

6年生の児童が選んだ短歌は、『まるっとやまと10月号』に掲載されますので、お楽しみに！



はじめの会の様子



最終投票の様子

感想発表にて

ぼくは、今日の短歌交流会でいろいろな短歌や、いろいろな考え方があったことが知れておもしろかったし、他の学校の人たちと交流ができてうれしかったです。
中学校に行くのが楽しみになってきました。

by 丹羽 吉齋さん

みんなで見送りました。



○命を守る訓練（全校の児童と職員）

9月2日（金）今年度2回目となる「命を守る訓練」を行いました。今回の想定は地震です。新体育館と仮設校舎の建築のために囲いが立ち、校庭の様子は大きく様変わりました。この状況に対して、避難経路を変更し児童も職員も新たな避難の仕方でも訓練を行いました。児童も職員も「かけがえのない自他の命を大切に」“命の学習”として真剣に取り組みました。本当に地震が起きたときに、この訓練通りに事が運ぶかどうかは誰もわかりません。しかし、こうして訓練しておくことが、もし地震が起きたときの冷静な判断や行動につながることを願っています。



○畑の片づけ（2年生）

めぐみの農協の國枝さん、野田さんから教えてもらって植えた畑の野菜たち。たくさん収穫と感動をいただいたこの畑を、2年生の児童は、担任の青木先生と一緒に、自分たちで片付けました。野菜の栽培や畑の管理って、本当に大変です。水をあげたり、消毒したり、草取りしたり…こういった大変さを子どもたちが知っておくことは大切な教育だと思っています。

楽しそうに声かけ合ってせっせとはたらく2年生の子たちの姿が素敵でした。



○劇団「文学座」演劇表現ワークショップ（5年生）

令和5年11月、「創作オペレッタ『東氏ものがたり』」上演に向けての取り組みの一つとして、大和の4小学校の5年生が劇団「文学座」の劇団員の方による演劇表現ワークショップを体験しました。レクリエーション形式で、「仲間と一緒に活動する中でコミュニケーションの大切さや声を出すことの楽しさを感じることができたようです。5年生の児童は持ち前の元気と明るさで楽しそうに活動していました。コロナ禍で、歌うことや集団での遊び等が制限されてきたこの2年間でしたが、少しずつ、歌うことや仲間と関わって活動することの楽しさ、おもしろさを取り戻していきたいものです。



○短歌の学習（3～6年生）

3～6年生の児童を対象に、「作歌教室」「短歌朗詠教室」を行いました。

講師は、岐阜県歌人クラブの後藤左右吉先生、黒田一夫先生、朗詠教室の講師は地元在住、郡上わらべのうたの会主宰の井上博斗さんにお越しいただき、短歌の魅力や短歌づくりのコツ、声に出して歌うことのおもしろさを学びました。



夢や目標に向かってがんばる北っ子

- ◇令和4年度 岐阜県少年美術展 絵画・デザイン部 【優秀賞】(5年)古田 紗羽【入選】(6年)水向 蘭
【準入選】(3年)河合 悠陽(4年)安藤 楓、安田 来未
(5年)三島 綜太(6年)國枝 志帆
- ◇第55回中濃地区学童水泳記録会 4年生以下50m平泳ぎ【第1位】(4年)青木 和奏
全学年女子200mメドレーリレー【第1位】(4年)青木 和奏
- ◇第1回 まん真ん中広場サッカー交流会【優勝】大和ジュニアサッカークラブ(2年)山本 純大(3年)林 佑衣夏、佐藤 成夏
- ◇令和4年度 歯の健康優良児【優秀賞】(6年)稲葉 夢輝、永井 琉輝、日置 莉子、松田 琉李、水向 蘭

～みんなの短歌コーナー～

つめたいなソフトクリームおいしいよ
コーンもたべた サクサク音なる

あさ八時はじめて一人でさんぽいく
ひるまどちがう 空気とふうけい

花火したかぞくでしたようれしいな
いもうとないたこわそうだった

かぞくとねすいぞくかんでわにをみた
あしがふとくてめがこわかった

とよはしへしんかん線を見にいった
大雨の中やすまはる

ねんがんのひらたくわがたつかまえた
ぼくがよろこびばはもよろこぶ

ぼくのいぬなまえはこまちこまちはね
ちやいろのめがびーだまみたい

せみがいたみんなないてうるさいよ
じいじいとなくせみもいるんだ



～今回は、1,2,3年生の短歌より～
短歌には、“その人が、その時を生きるかけがえのない今”“を、写真以上に奥深く留めることができる力があります。それが短歌の魅力です。

